



19高第6号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長様

岡崎市長



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたことについて、別紙の通り回答いたします。

中期的な計画作成にあたっての意見

— 今後の道路政策や道路の整備・管理について —

■ 重点化を進める上で特に優先度の高い施策について

慢性的な交通渋滞の抜本的対策 ・・・別図面参照

(1) 交差点渋滞対策（八帖）

- ・ 渋滞が定常化するとともに、沿道環境にも負荷を与え続けていることから早期事業化、早期完成を強く望む。

(2) 骨格道路、幹線道路の整備

- ・ 岡崎刈谷線の4車線化、矢作桜井線JR立体交差化、岡崎環状線及び（仮称）岡崎豊田線（細川新橋）など早期計画策定、事業化を進める必要がある。

■ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

(1) 効果の高い事業から優先的に着手すること

- ・ 渋滞解消や都市の骨格となる道路を重点整備すべきである。

(2) 予算や労力の重点・集中投資を図り、事業の早期完成を目指し、早期効果の発現を図ること。

(3) 行政がしっかりととしたビジョンを持ちつつ、計画の早い段階から住民参画を図り、合意形成の基に円滑に事業を推進すること。

■ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するこ

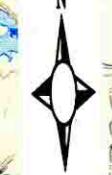
- ・ 地方の道路財源の確保を図ること

- ・ 道路財源の使途拡大を図る場合、まちづくり、公共交通の充実、自然回復など地方のニーズに即した使途に充当できるよう強く要望する。

- ・ 道路施設の延命を図るため、長期的な計画に沿った適切な維持管理が必要なことから管理費用についても財政支援をお願いしたい。

中期的な計画作成にあたっての意見

—今後の道路政策や道路の整備・管理について—



岡崎市区間

L = 21.2km

